

Season 2

ぜっ校長！

第28号…自己ベスト更新です！

平成30年12月19日（水）

稲羽中学校 校長 江口 雅明

☆一人では作れないものがある！

▼12月14日（金）の合唱発表会には、200名近い保護者や地域の方々にご来校いただきました。ありがとうございました！さて、合唱発表会を終えた今、校長として私は3年生全員に問いたい！
「3月5日の卒業式で、あなたたちは、“全員”で、“本気”で「卒業記念合唱」を行うのか？」と。

♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪



☆何のために歌うのか ～ 教え子から学ぶ合唱の価値 ～

▼25年前、中学校3年生の学級担任であった私のクラスに1人の女子生徒がいた。1年生の時の彼女は、勉強もよくできた明るい生徒であったが、3年生の夏休み以降、友だち関係もすっかりと変わり、いわゆる女子の不良グループのリーダーになっていた。学校でも毎日のようにトラブルを起こし、なかなか指導が通らなかった。冬休みに入る前、A中学校とB中学校の不良グループの抗争事件が起きた。その日が、「おもしろそうだから」と見物に出かけた彼女にとって“運命の日”となった。彼女は、同じく「おもしろそうだから」と見物に来ていた他校の女子生徒に言いがかりをつけられ、“売られた喧嘩を買って”相手の女子生徒に重傷を負わせてしまった。彼女は、自宅で両親の目の前で刑事によって手錠をはめられた。それはクリスマスの夜だった。彼女は、少年鑑別所で年末とお正月を迎えた。担任の私は、ほぼ毎日面会に行った。やがて、家庭裁判所で「少年院送致」の審判を受け、大阪K市にあるK女子学院に入所した。当時の校長先生のご配慮で、私は毎週自家用車で大阪K市まで行かせていただいた。面会時間は2時間。クラスの生徒が書いた手紙を渡し、その後「中学卒業後、働く時に困らないように」と、数学と英語を教えた。卒業式まであと1ヶ月になった時、彼女は言った。「卒業式の前に出所できるかどうかかわからないけど、もし卒業式に出られたら、もちろんみんなが許してくれたら、みんなと一緒に合唱したい」…翌週、卒業式で合唱する『大地讃頌』の楽譜とピアノ伴奏を録音したカセットテープを持って大阪に出かけた。彼女はソプラノ、私はテノール…2部合唱だったけれど、何度も何度も練習した。「もし、卒業式までに出所できなかつたら…それでも練習するか？」帰る前に、私は彼女に尋ねた。彼女は答えた。「こんな私に手紙を書いてくれる友だちがいる」「一緒に歌うことしか私には恩返しができない」…校長先生に伝えると、「よし、わかった」と言って、次の週、私と一緒に大阪に出向き、K女子学院長に卒業式前に出所できるように嘆願してくださった。学院長は言った。「ここに入所するような生徒を、できれば卒業式までに出所させないでくれと学校側は言います。ところが、そちらの学校は、担任の先生は毎週面会に来て勉強を教え、面会室から歌が聞こえてくる。校長先生は、卒業式前に出所させてくれと言う。頭が下がります。」…卒業式の3日前、彼女は出所した。そして、3年生の仲間に囲まれながら、彼女は堂々と『大地讃頌』を歌いきった。